

悲惨な沖縄戦を 決して忘れない



平和行動in沖縄

思いを込めて折鶴献納

2005年連合平和行動のスタートとなる「平和行動 in 沖縄」が6月23日から25日に行われ、連合群馬からは7産別・1地協、事務局を含め21名が団を編成し参加しました。

今回は戦後60周年の節目ということもあり、47すべての都道府県から連合を中心とした仲間1600名が集い、「連合2005平和オキナワ集会」、「米軍基地の整理縮小を求める集会・デモ行進」などが行われました。

集会では「沖縄戦の惨劇を決して忘れてはならない、風化させてはならない。」とのアピールを採択しました。また、デモ行進では、普天間基地から米軍ヘリが墜落した沖縄国際大学までの間を、基地閉鎖・返還を求めるシュプレヒコールを交えながら実施しました。

その後「ぴーす・フィールド」として 平和祈念公園、糸数の壕、ひめゆりの塔など惨劇の爪痕を残す南部戦跡をめぐり、当時の悲惨な沖縄戦を学びました。参加者からは、「広島、長崎の方がよく知られているが、今回いろいろな場所を訪れ、あらためて沖縄戦当時の悲惨な状況がわかった。」との感想がありました。

また、最終日には連合群馬から参加した21名全員で平和祈念公園にある「群馬の塔」を慰問し組合員・県民が心を込めて折った鶴2万羽を、鎮魂の意とともに献納しました。そして、参加者それぞれが戦争がもたらした惨劇を深く心に刻みこむとともに、不戦の誓いを新たにしました。



折鶴献納「群馬の塔」前で

平和学習会開催！

日時 / 10月15日(土) 9:30~11:30

会場 / 前橋問屋センター

内容 / 戦後60年の節目の年として取り組んだ連合群馬平和行動の参加者による報告や広島原子爆弾の語り部による講演など

第2回セレクトセミナー 仲間の異変に気付くために メンタルヘルスセミナー

Part
1

6月26日(日)群馬県公社総合ビルにおいて、産別・地協や群馬県経営者協会の会員企業・一般参加者など、167名が集まり開催しました。

今回のセミナーは、メンタルヘルスをテーマに群馬県経営者協会と共同主催で行い、日本産業カウンセラー協会関東支部群馬事務所長・沼澤文子さんより「職場での管理・監督者や労働組合役員などが、部下や仲間の異変に気付くための心得や普段からのコミュニケーション作り」などについて講演を受けました。

締め切り 間近!!

メンタルヘルスセミナーPart2 (第3回セレクトセミナー)

日付 / 7月30日(土) * 2会場で開催します。

会場 / 高崎会場・高崎市中央公民館 9:30~11:30

時間 / 太田会場・太田市浜町勤労会館 14:30~16:30

講演ではメンタルヘルスやストレスなどについて、参加者相互の話し合いの場が設定されるなど、心の健康について認識を共有する和やかな場面もありました。

今回は管理・監督者向けの講演ではありましたが、最も身近にいる同僚が仲間の言葉にならない声に耳を傾け、異変に気付くことが大切であるのではないのでしょうか。

次回「Part2」は、自分自身がこころの病にかからないために、ストレスを溜め込まないように、こころのケアを学習します。詳しくは予告欄をご覧ください。



沼澤所長



メンタルヘルスセミナー

主催: 群馬県経営者協会・連合群馬

実施日: 2005年6月26日

実施時間: 9:30~11:30

実施場所: 群馬公社総合ビル ホール

(社) 日本産業カウンセラー協会 関東支部 群馬事務所
沼澤 文子